

宇治情報

No.104

(体験集通算 454号)

宝 蔵

盂蘭盆供養について

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹



▲浄火の儀 祝詞奏上

宝蔵会の皆様には平素より宇治別格本山の諸活動に、ご協力、ご愛念を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年の盂蘭盆供養大祭は、新型コロナウイルス

ウィルス感染症の位置づけが「第五類」へ変更されたことに伴いまして、四年ぶりに開催できることとなり、「宝蔵神社盂蘭盆供養大祭本祭」と「自然災害並びに世界規模

感染症物故者追悼慰霊祭」につきまして、総裁・谷口雅宣先生が齋主としてご奉祀くださり、白鳩会総裁・谷口純子先生は、同御祭にご臨席くださることとなりました。

盂蘭盆供養の意味ですが、お盆は昔からの風習で、正確には「盂蘭盆会（うらぼんえ）」と云いまして、サンスクリット語の「ウラバナ」を音訳したものであります。「地獄や餓鬼道に落ちて、逆さつりにされ苦しんでいる」という意味で、その苦しんでいる人たちを救うために供養を営むのが盂蘭盆会であります。

お盆の由来は『盂蘭盆経』の中で、お釈迦様の弟子で目連様という方が大切な母が餓鬼の世界に落ちて苦しんでいるのを助けたいとお釈迦様に御指導を仰ぎました。お釈迦様は「多くの僧が修行を終える七月十五日に、真心で沢山の飲み物や食べ物を供え、お経をあげてもらい、供養をつとめなさい」とおっしゃられた。目連様がそのとおり供養（次頁に続く）



すると、母親は飢餓の苦しみから救われました。さらに、お釈迦様が「同様に、七月十五日にいろいろな飲食を盆に盛って仏や僧や大勢の人に供養すれば、その功德で多くのご先祖が苦しみから救われ、今生きている人も幸福を得ることができよう」とお説きになった。これがお盆の行事の始まりといわれております。

吾々が今日あるのも、ただひとり、自分の力で此処に生まれ出ているのではなく、木には、幹があり、根があるように、人間には父母があり、祖先があり、祖先のもとには神様があり、その神様のいのちが自分を通して人間は生きています。ですから神様に感謝し、祖先に感謝し、父母に感謝しなければならぬのであります。

病気をしたり、生活が困窮するのは、根に養分が足らぬからです。感謝が根に養分をやることになるのであります。毎日祖先に『甘露の法雨』をあげて感謝をいたしましょう。

そうしてきますと、毎日一層元気になる、運がよくなり、物事が都合よく行

くようになるのであります。『靈供養入門』に次のような言葉が示されています。「大地は神様 根は先祖 幹は両親 子孫は枝葉 枝葉に花咲き よき果を結ぶは 親に孝養 先祖に供養」この

随想

生き通しの生命

宝蔵会の皆様、ありがとうございます。神癒祈願の礼状は毎月、掲載しておりますが、今回、ご家族の昇天に際して、「生き通しの生命」の信仰として礼状が届きました。

「長い間、夫の神癒祈願をしていただきましてありがとございました。夫は若い頃、急性肝炎にかかり、治療時当時は使い回しの注射針でB型ウイルス性肝炎になり、五十歳過ぎから肝硬変、腫瘍かでき始め、あらゆる治療をして、七十歳まで教育の現場で仕事をしてきました。退職後は母親の介護も助けてくれ、病気を忘れるような生活ぶりでしたが、令和三年に母の三年祭

ように、親に対しては孝養につとめ、ご先祖様には供養に努めますと、命の根に養分を与えることになり、日常生活が安定して、家庭が平和になり、子孫が繁栄して栄えるのであります。

祈願部 部長

阿 部 秀 輝



朝は『おそうめんを食べようか』と車椅子を押して廊下に移動

が終った頃から体調が悪くなり、腹水がたまったり、肝性脳症をおこしたり入院をくり返していました。五月半ばに再び入院しましたが、今回は私が付添いを許され、お互い安心した数日間がすごせました。そして五月二十三日に訪問診療の手続きがとれて自宅に退院でき、食欲もおちていく中で、翌

し、庭を眺めながら『おいしい』と食べてくれました。胸の圧迫（腹水）で気持ちが悪いく状態でしたが、痛みがななく、意識もしっかりあって、皆に『ありがとう』をくり返し、家族に看取られました。静かな眠りに又、目が開くような気がしました。肉体から開放され、楽になったと思います。神様に感謝申し上げます。生き通しのいのちを教えていただいていますので、供養とともに私の信仰を深めてまいります。再拝」

『日々の祈り 神・自然・人間の調和を祈る』の『終り』は『始まり』であることを知る祈り（一七七頁）の中に移り変わる現象の奥に変わらぬ神性・仏性があるとあります。

「一つの環境に留まっていたのでは『神の子』の表現はできない。（中略）一回の人生では『神の子』の全相が現れるものではない。（中略）私はいま神の御前に座し、私自身の内部神性―すなわち『内なる仏』を観想するのである。私はこの『神性・仏性』そのものである。私の周囲のあらゆるものは

無常であり変転するが、この『神性・仏性』は変わることなく私に語りかけ、『汝 真を生きよ』『善をなせ』『美であれ』と囁くのである。この声こそ『私の本質』であり、これを表現することでは生き甲斐を感じ、魂の喜びを得

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

T. R (40代)〈女性〉

今日は夫、子供二人、義妹、私の五人で来ることが出来ました。現象的には本当に色々あり、今家で起きている大きな問題もあり、夫に真理の話を聞いて欲しいという思いがずっとありましたが、三か



るのである。それが神の子の生き方である。神の子の生命に『終り』はない。神の子の表現に『終り』はない。それは新たな出発であり、次の段階の『始まり』である。「生き通しの生命の信仰をこれからも続けて参りましょう。」

月前に「宇治に行こう」と言ったときには「今は必要ない」と言われました。その時宇治で「あなた一人が聴いて実践するだけでよい」と教えられたので、魂の半身である私がこのみ教えを信じ、実践することを大切にしていました。

今回、現在大きな決断を迫られている夫の現状を想い、三か月ぶりに「宇治に行かない？」と訊いてみると「行ってもいい」と言ったので、義妹の車に乗せてもらってきました。

ここに来たからには、何か夫に変化があるか、夫に何か気（6頁に続く）



◆ 8月 宇治別格本山で執り行う祭典予定 ◆

- 5日(土)10:00～ 末一稻荷神社祭
精霊招魂神社祭
- 7日(月)14:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 12日(土)14:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 13日(日)10:00～ 全国流産児無縁霊供養塔供養祭
- 14日(月)13:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 16日(水) 5:40～ 送霊祭 みたまぬきの儀
7:30～ 送霊祭 霊牌奉送の儀
13:00～ 霊牌合祀祭
- 17日(木) 8:00～ 御神火奉載の儀
8:30～ 送霊祭 浄火の儀
- 18日(金)16:00～ 自然災害並びに世界規模感染症物故者追悼慰霊祭
- 19日(土) 9:00～ 宝蔵神社孟蘭盆供養大祭 本祭
- 20日(日) 9:20～ 霊牌焼納予備日
- ・8月7日、12日、14日～20日の命日供養祭は繰り上げて実施いたします。

※「孟蘭盆供養大祭 本祭」「自然災害並びに世界規模感染症物故者追悼慰霊祭」につきましては、近隣教区から推薦された参列者のみのご参列、それ以外の祭典につきましては無参列とさせていただきます。ご理解のほどよろしくご願ひ申し上げます。



霊牌奉送の儀



浄火場



精霊招魂神社前

霊牌合祀祭



霊牌奉安



浄火の儀

(3頁から続く) 付いて欲しい、義父と和解するきっかけになって欲しい、問題解決のヒントに導かれて欲しいと色々思っていました。

しかし、それは違っていました。

もう既に神は完全で、善一元、夫は初めから神の子で、完全円満で素晴らしい！一つも迷うことはない！唯々感謝して、生命に感謝して、夫について行くこと、一緒に歩んで行くこと。必ずよくなる！講話を聴いていて、そう想えてきたのです。私はとにかく喜んで、明るく生きていこうと思えました。

問題は重いものであっても必ず良い方へ導かれる。素晴らしい今、素晴らしい未来に感謝して、この教えを信じて歩んでいきます。



夫は全講話聴いてくれて、子供達も「宇治はとても楽しいね」

と言ってくれました。素晴らしい一日に感謝です。

私は益々夫の両親に感謝、私の両親に感謝して、自分の実相をしっかりと観つめていきます。

A. A (60代(女性))

四月の末に「一日講話」に参加させていただきましたが、久しぶりの浄まった空気分の中で、諸講師のご講話に自分でも驚くほど感動して、再度今回の受講を決めさせていただきました。

榎本講師の「罪があるという常識を超えよ」とのテーマのお話は、まさに今の私にピッタリの内容でした。生長の家の根本真理、善一元の一言を別の言葉で表現すれば罪はないということなのに、いつの間にか現象に振り回され、一番大切な娘を裁き、自分を裁き、業の深い自分と思い込み、その業を消さなければ…と行にいそしんでいた私は、喜びからはいつの間にかはるかに遠い信仰をしていたのです。そんな

な信仰はそもそも信仰ではないし、何よりも神様のみ心から大きくくれたものとなっていたのです。

「あ、私は一体生長の家の何を信仰していたのだろうか？」と今更ながら感じて、包み込むような榎本講師の一言一句に、どこまでも神様から愛されている自分、許されている自分、そして導かれている自分を尊ぶべきだった、尊んでいいのだと涙が溢れて、中々止めることが出来ませんでした。

また清水講師の「何かうまくいかないときは、神様以外のものを相手にしている」という一言に、再度その思いを確認しました。

本来神の子であるからこそ、むしろ悪や罪が解り、本当に罪が実在であるならば同化してしまつて、罪を責める自分すらないではないか、と感じました。それはどこまでも私達の根本は神の子として、実に完全に素晴らしく造られている存在の証明でもあるのでは？と。

浄心行では過去のあらゆる神の子らからぬ想念を書き記し、浄めること

が出来ました。

岡田浩二講師先導の浄心行では、愛のこもった「お父さんお母さん有難うございます」という素晴らしい響きに、大好きな父母を縁として神の子に生んでいただいた神の子の喜びが胸いっぱい広がりに、新生させていただいたと思います。また参加させていただければと思います。

S. D (50代) (女性)

家庭、仕事と共に辛いことがあります。前日に「日時日記」を書いたり、寝る前に一日にあった善いことを二十個数え、先祖供養をし、何とか心を保っていました。もう「限界！」というレベルに…。宇治に行くしか方法はないと思ひ、今日来ました。

第一講話で、他人を認めるとか良いところを認めることなどは難しいけれども自分をほめて認めることはできるはず…。自分をほめて認めて大好きになることを続ける事で「認めたものが現

れる」という法則により、人生が好転していった話を聴きました。私もこれなら出来ると思ひました。実践します。今日来てホッとしました。有難うございました。

H. M (60代) (女性)

本日も魂のこもった講師の方々の講話、有難うございました。

榎本講師の「あなたは神の子、執着を解き放て！」の講話で、「こうあるべきだ、こうでなければという想いを先ず無くし、そのままの自分を神の子だと喜び、自分の素晴らしいだけを観て、自分と調和することだけをやってみる。そうすると放っておいても、周りの人達の本来の姿が観えてくる」と教えていただきました。

また、岡田浩二講師が研修生にいつも言っている三つのこと

- ① 神に生かされていることに感謝
- ② 「神の子」を観ずる
- ③ 「神の子」を表現する



これがとても分かり易く、このことも常に心に留め、

実践していきたいと思ひました。

千羽講師のご講話では、ご自身の大変な体験と深い真理の話でありながらも、おもしろく語っていただき、何度も声を出して笑いました。

最後の堀端講師のお話しでは、完全降伏状態！業のお話の中で、「郷ひろみっているでしょ？」と仰ったときには、思わず「ブーッ」と吹き出してしまいました。隣の人も、前の人も吹き出して笑っていました。悩みを抱えてこれらしている方が沢山いて、かく言う私もその一人でしたが、何だか心の縛りが取れてしまつて悩んでいたのが、かばかしくなつて、安心して笑える様になつていました。

帰り道、「今既に幸せだな、自分も家族も皆完全円満な素晴らしい神の子であつて、神様にこうして生かされ

ているではないか。そのことに気が付いた私は、本当に「幸せだ」と思っていました。不思議とこう思えてきました。「あゝこれが宇治の凄さ、素晴らしさだ!」と思いました。本当に有難うございました。

N・M
(50代)〈女性〉

今、特に問題があるわけではないですが、家族やご先祖様のために「ゼロエネルギーハウス」を建てる大きな希望があります。

昔から母と私は宇治が大好きで、私が「宇治へ行くかー」と言つと母は「フツッ嬉しい!行くかー!」となります。母は高齢になりましたが、元気で過ご



せていることは大変有難いことだな、としみじみ思います。そし

て、母の喜びは私の喜びです。

講話のタイトル、講師の名前が載った月々の「一日講話」の予定表を確認することは楽しみです。そして、毎回講師の方達の講話はどの方も熱心で、感動します。今日は「先祖・流産児供養祭」があり、このところはずっとオンラインで参加していました。今回は宝蔵神社大拜殿で実際に参加出来て本当に良かったです。

Y・B
(50代)〈男性〉

今日の岡田浩二講師の講話で「本当の世界と本当の自分を知って、本当の自分を祈ること、それが一番尊い事だ」と言われ、納得しました。

千羽講師の講話では、「現象をどうにかしてから幸福になるのではない。罪が消えてから神の子になるのではない。そのまま実相圓滿完全。愛をこの世に表現しただけ嬉しくなり、幸せになる」というのが素晴らしいと感じました。

榎本講師は「こうなつたらいいな



のであるから、喜びましょう」というようなお話で、嬉しくなりました。

最後の堀端総務のご講話では「自覚というのは難しいように感じるが、自覚というのはある時フツとくる時がある。その為には、唯々行を行なうことが重要。それがわが内なる神の内なる声に従つて生きるといふことである」とお聞きしました。自覚、自覚とこだわる事もないなと心が軽くなりました。有難うございました。

あ〴〵思うもののすべてが私達の内にある。内にといふことは、すでに、とであり、既に実現している

T. E (50代)〈男性〉

岡田浩二講師の「人間は肉体ではない、神の子だ!」の原点のお話、講師のお兄さんの体験談、そしてすべてを受け止めて見つめる講師の生き方に感動しました。「全体を生かしながら自分を生きる、絶対の境地を出発点にする」考え、素晴らしいと思いました。

堀端総務の「喜びの先祖流産児供養」のお話では、霊界の高級霊からの導きを得られる状態を保てるようになるために、三正行の大切さを感じました。先祖供養が生活の土台に養分を与えるというお話も有難かったです。

岡田伊都子講師は「全ての生命に祝福礼拝」のご講話で、「天地一切と和解することは、自分が神の子として生きられる要であることを自覚していることなのだ」という言葉が、印象に残りました。

「中心帰一があるから、多様性が活きる」という言葉も、心にさざりました。清水講師の「真の幸福は万物との調和

の中に」の講話で、「愛されている」という大前提で先祖供養もするというスタンスや、「愛されている」という

礼 状

六月十八日の「ご先祖と共に悦びの一日講話」に参加させていただきました。その節は大変お世話になりました。十七日の早朝にどうしても宇治に行きたいという思いが募り、母と参加させていただきました。

母が生長の家を信仰してくれていたお蔭で、何かあると練成会に参加させていただいたり、本を読んだりすることはありましたが、離婚して三人の子供を育てながら保育士として働き、忙しさのあまり教えるから遠ざかっていった時期もありました。

意識で話される清水講師の言葉がいつもながら清らかで、素晴らしいと感じました。有難うございました。

K. G (60代)〈女性〉

子供達が巣立つてからも働き続け、心に余裕のない日々で、自分のことで一杯で不平不満の毎日となっていました。

今回は転職したばかりの職場を辞めたいと思い、その前には非宇治に行きたいと思いましたが、講話を聴きながら、愛されている自分を感じることが出来ました。

おいしい昼食を頂き、焼き立てのパンを頂いたとき、どこのパン屋さんから仕入れたのだろうと思っていたところ、食堂の方の手作り、しかも早朝から心を込めて作られたと聞いて驚きました。

午後の講話で、榎本講師が谷口雅春先生が生長のお始めになった頃のお話をされていた時、雅春先生ご自身



か?」忙しいと言いなから感謝することを忘れてしまっていた

も予測できなかったような奇跡が起こったことなどを聴いているうちに、「私も子供の頃から大好きだった谷口雅春先生の教えを知っていたおかげで今日まで生きてこられたのだ、これからは何かお役に立ちたい!」という思いが湧いてきました。自分の内から白鳩会の正会員になろう、という声が聞こえてきたのです。

そして、宇治から帰って来た今朝(六月十九日)、本山の食堂の方の焼かれたお土産に頂いたパンを朝食に頂いたのですが、とても良い香りがして一口頂くと作った方の愛念を感じることが出来、涙が止まりませんでした。「私は教えから沢山のおかげを頂いているけれども、こんなに心を込めて人のために何かをしたことってあったらどうか?」

ことに気づかされました。「これからはどんな小さなことでもいいから生長の家で教えていただいた

〈神癒祈願のお礼状〉



顔の癌切除手術が成功

M. S (女性)

昨年夏のことです。以前から頬にできていたイボのようなできものの横から、小さな黒い腫瘍が出てきて、だんだん大きくなってきました。受診すると基底細胞癌とのことでした。癌と言っても切除するだけで良く、抗がん治療はしなくても良いとのことでしたが、顔の手術なので心配でした。早速神癒祈願をお願いして、無事に治るよ

ことを伝えていく人生を歩みたい!」と心から宣言したいと思います。宇治別格本山の皆様有難うございました。

うに祈っていただきました。

お陰様で切除と回復の二回の手術も順調に進み、術後の痛みもほとんど無く過ごせました。顔を二十〜三十針も縫いましたので傷跡が心配でしたが、半年以上経った今はほとんど分からなほど綺麗になってきました。これも神癒祈願で祈っていただいたお陰と感謝しております。ありがとうございました。

アメリカの叔母と

親友が快癒

A. K (女性)

アメリカ在住の叔母が海外で軽い心臓発作を起こし、治療の為に来日いたしました。叔母の治療と健康、実相円満の神癒祈願をお願い致しました。日



心より感謝
申し上げま
す。

本の病院で色々な検査をしていただき
ましたが、お陰様で別段心臓にこれと
いった異常は見つからず、アメリカで
これからもお薬の服用を続けていけば
よい、と先生に仰っていただきまし
た。来日の際は車いすで飛行機から日本に
降り立ちました。帰国時はしっかりと
と自分の足で飛行機に乗り、アメリカ
に戻っていきました。

また、アメリカでの親友の女性が舌の
腫瘍の摘出手術を受けることを前日に
知り、大急ぎでインターネットから神癒
祈願の申込みをさせていただきまし
たところ、無事に手術が成功した知らせが
届きました！インターネットでの申込
みができて、本当に助かりました。

宇治でお祈りをしていただけること
が、大変に有難いです。神様、生長の
家宇治別格
本山の皆さ
ま方のご愛
行ご愛念に
心より感謝
申し上げま
す。

息子が素晴らしい職場に 転職

K. S (女性)

昨年からは息子の職場での理不尽な出
来事で仕事の居場所がなくなり、仕事
がない、出来ない、させてもらえない
事に苦しんでいた。毎月神癒祈願
で「使命を果たせて多くの人の役に
立てる仕事、場所が与えられますよう
に」と、お願いしてきました。

ここまで数ヶ月、紆余曲折、人間の
智慧では「なんでこんなことが」と思
えるような展開がありました。結局
自然と会社を退職することになり、転
職活動を始めました。はじめは自信も
なくなり、年齢もあって不安いっぱい
からの転職活動でしたが、今年の五月
に一番良いところに転職が決まりまし
た。彼の個性が生かされ、活躍を期待
されている職場です。神様はどんな時
にも、深い愛で導いてくださる事を学
ばせていただきました。宇治の神癒祈
願でいつも祈っていただくことが、

大きな安心に繋がっていました。本当
にありがとうございました。

祈りは必ずきかれるということをも、
改めて確信させていただきました。七
月一日から新しい会社でのスタートで
す。神様に導かれた道と、本人も心よ
り感謝しています。ありがとうございました。

妹が快癒

N. M (女性)

妹はトイレで血圧が下がって倒れ、
救急搬送されました。以前より患っ
ている大腸炎とのことでした。体調が優
れず、睡眠もよく取れていなかったよ
うです。すぐに神癒祈願を出させてい
ただきました。妹は人型を肌身離さず
つけ、祈り続けていたようです。今で
は慢性の便秘も治り、肌の調子もよく
なり元気に過ごしております。



《霊牌について》

- ◎従来通り霊牌はお送りください。
- ◎今月は本山員が招霊を行います。
- ◎締め切りは8月13日必着でお願いします。
(荷物表紙には「霊牌在中」とお書きください)

★オンライン個人指導(無料)のご案内★

時間 : 9:20~12:00、13:00~16:00

※お申し込みにより日程を調節します

担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補

(担当講師のご希望はお受けできません)

使用媒体：Zoomまたはメッセージ

お申し込み方法：

メールアドレス rensei@uji-sni.jp、または
Facebookページ「生長の家宇治別格本山」まで
メッセージをお願い致します。メッセージにお名前・
電話番号・ご希望日時を記入し、ご送信ください。
担当講x|師等の連絡事項を返信いたします。



・練成会は令和5年8月まで中止
・8月の「ご先祖と共に悦びの一日講話」は非開催
となっております。
9月の開催行事につきましては、ホームページまたはFacebookで確認するか、お電話でお問い合わせ
ください。練成会が再開されない場合は、7月まで
と同様、土日に「ご先祖と共に悦びの一日講話」を
開催する予定です。



宗教学 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。